

平成28年度 事業報告書

自 平成28年4月1日
至 平成29年3月31日

東京都中央区築地3丁目11番6号
(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

平成28年度事業報告

I. 会員登録状況

1. ライセンス会員数 (最終3月31日締め)

WEB申請が定着し、約92%がWEBによる申請。

		H26年	H27年	H28年	H28年度計画	前年比	達成率
会員数	競技会員	14,680	15,086	15,187	15,000	101%	101%
	エンジョイ会員	2,374	3,009	3,064	3,500	102%	88%

2. 各種目のライセンス発行枚数 (最終3月31日締め)

① ロードレース **5,672枚** (昨年5,743枚) 前年対比 **99%**

種目	区分	H25年	H26年	H27年	H28年	前年比
ロードレース	国際	828	837	840	845	101%
	国内	3,405	3,327	3,470	3,489	101%
	フルツア	1,468	1,351	1,390	1,294	93%
	ジュニア	57	52	43	44	102%
	計	5,758	5,567	5,743	5,672	99%

② モトクロス **1,715枚** (昨年1,723枚) 前年対比 **100%**

種目	区分	H25年	H26年	H27年	H28年	前年比
モトクロス	国際A級	163	165	161	157	98%
	国際B級	417	387	366	355	97%
	国内A級	290	266	252	253	100%
	国内B級	572	552	537	543	101%
	ジュニア	383	371	375	356	95%
	PC	46	37	32	51	159%
	計	1,871	1,778	1,723	1,715	100%

③ トライアル **1,479枚** (昨年1,450枚) 前年対比 **102%**

種目	区分	H25年	H26年	H27年	H28年	前年比
トライアル	国際A級	129	143	146	148	101%
	国際B級	366	365	373	381	102%
	国内A級	389	370	345	332	96%
	国内B級	576	558	577	611	106%
	ジュニア	7	5	9	7	78%
	計	1,467	1,434	1,446	1,479	102%

④ スノーモビル **155枚** (前年 159枚) 前年対比 **97%**

種目	区分	H25年	H26年	H27年	H28年	前年比
スノーモビル	A級	82	75	79	71	90%
	B級	102	86	68	72	104%
	ジュニア	18	16	12	12	100%
	計	202	177	159	155	97%

⑤ スーパーモト **341枚** (前年 325枚) 前年対比 **105%**

種目	区分	H25年	H26年	H27年	H28年	前年比
スーパーモト	A級	217	213	213	212	100%
	B級	127	130	112	129	115%
	計	344	343	325	341	105%

⑥ インデューロ **437枚** (前年 394枚) 前年対比 **111%**

種目	区分	H25年	H26年	H27年	H28年	前年比
インデューロ	国際	82	97	132	155	117%
	国内	136	198	262	282	108%
	計	218	295	394	437	111%

⑦ ピットクルー **8,095枚** (前年 7,820枚) 前年対比 **104%**

種目	H25年	H26年	H27年	H28年	前年比
ピットクルー	7,361	7,444	7,820	8,095	104%

⑧ 競技役員 **4,420枚** (前年 4,380枚) 前年対比 **101%**

種目	H25年	H26年	H27年	H28年	前年比
役員・講師	4,813	4,455	4,380	4,420	101%

3. 賛助会員

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	前年比
法人会員	57件 (57口)	59件 (60口)	48件 (52口)	53件 (55口)	105.7%
個人会員	1件 (1口)	1件 (1口)	1件 (1口)	0件	

4. 年間プレス登録者

	ランク	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	前年比
プレス	A	76	73	70	78	114%
	B	16	12	18	15	83%
	合計	92	85	88	93	106%

Ⅱ. モーターサイクルスポーツ事業

1) MFJ 公認・承認競技会（講習会含む）の都道府県別申請状況

競技会申請数は公認競技会 467 大会（前年比 104%）承認競技会 90 大会（前年比 97%）合計 557 大会で申請数は前年比 102%。

地区	公認									承認								合計		
	RD	MX	TR	SN	SM	ED	講習会	走行会	公認計	RD	ミニバイク	MX	TR	SN	ED	行事	承認計	申請数	中止計	開催数
北海道	4	8	8	3	0	7	17	0	47	0	1	0	0	0	0	0	1	48	2	46
東北	5	9	16	0	2	3	21	1	57	2	8	0	8	0	6	0	24	81	2	79
関東	12	14	19	2	3	2	56	2	110	9	1	0	8	0	1	1	20	130	11	119
中部	9	9	14	0	2	3	25	3	65	9	4	0	7	0	0	0	20	85	1	84
近畿	0	9	10	0	2	1	11	0	33	0	0	5	1	0	5	0	11	44	0	44
中国	9	10	16	0	2	5	19	4	65	0	0	0	2	0	2	4	8	73	2	71
四国	0	6	8	0	0	0	4	0	18	0	0	0	0	0	1	0	1	19	1	18
九州	10	8	9	0	2	6	37	0	72	3	0	0	1	0	1	0	5	77	15	62
合計	49	73	100	5	13	27	190	10	467	23	14	5	27	0	16	5	90	557	34	523
前年比	111%	97%	94%	100%	100%	104%	111%	91%	104%	96%	82%	500%	90%		76%		97%	102%	142%	100%
2015	44	75	106	5	13	26	171	11	451	24	17	1	30	0	21	0	93	544	24	521
2014	43	84	102	5	15	18	134	23	424	21	18	4	25	0	6	1	77	501	17	484
2013	45	89	104	5	19	14	131	16	423	16	27	15	25	1	10	1	95	518	19	499
2012	43	93	106	6	23	15	125	13	436	18	33	15	22	1	13	5	109	545	14	531

2) 競技会開催状況

(1) ロードレース

① 世界選手権/特別競技会

（世界選手権はスポーツ庁・観光庁後援事業）

格式	開催日	大会名	観客数					前年比
			H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	
世界選手権	7月28日～31日	鈴鹿8時間耐久ロードレース	105,000	109,000	111,000	121,000	124,000	102%
	10月14日～16日	MotoGP 日本グランプリ	59,438	61,097	70,271	85,403	88,472	104%
アジア選手権	6月4日～5日	鈴鹿大会	開催なし	19,000	18,100	12,000	17,700	148%

② 全日本選手権

文部科学大臣杯は中須賀選手(JSB1000 丸ノコ)が5年連続獲得。全戦スポーツ庁・観光庁後援事業・全戦FIM公認国際競技会
今期より開始したMFJカップJP250は平均57名参加と盛況。

	開催日	会場	観客数	JSB	GP2	ST600	GP3	全日本計	MFJカップJP250	総合計
第1戦	4月10日	筑波	12,500		23	37	22	82	56	138
第2戦	4月24日	鈴鹿2&4	54,000	81				81		81
第3戦	5月29日	もてぎ	12,200	37	25	37	23	122		122
第4戦	6月12日	オートポリス	中止					0		0
第5戦	6月26日	SUGO	5,700	29	28	34	25	116	49	165
第6戦	8月21日	もてぎ2&4	28,500		28			28	46	74
第7戦	9月11日	AP2&4	中止					0		0
第8戦	9月25日	岡山国際	8,500	33	26	47	25	131	66	197
第9戦	11月6日	MFJ-GP 鈴鹿	25,500	31	27	26	32	116	68	184
合計			146,900	211	157	181	127	676	285	961
1大会平均			20,986	42	26	36	25	97	57	137
前年			20,469	35	22	30	29	84		
前年対比			103%	121%	119%	121%	88%	115%		

③ 地方選手権（ナショナル・インター）・承認ロード競技会

地区	公認競技会				承認競技会			
	大会数	参加台数			大会数	参加人数		
		総台数	平均	前年比		総人数	平均	前年比
十勝	4	68	17	159%	5	151	30	63%
SUGO	5	246	49	121%	7	421	60	75%
筑波	5	346	69	130%	10	1,862	189	100%
もてぎ	5	377	75	98%	8	1,331	166	139%
鈴鹿	8	950	119	125%	18	1,674	93	72%
岡山	9	569	95	125%	11	579	53	70%
九州	5	224	45	148%	8	352	44	109%
2016 合計	41	2,780	68		67	6,370	95	
2015 合計	31	1,551	50		59	5,828	99	
2014 合計	33	1,548	45		53	5,911	112	
前年比	132%	179%	136%		114%	109%	96%	

支部	承認ミニバイク			
	大会数	参加人数		
		総人数	平均	前年比
北海道	1	47	47	107%
東北	9	489	54	107%
関東	3	1079	360	92%
中部	4	98	25	82%
中国	3	315	105	162%
H28 合計	20	2,028	101	
H27 合計	23	2,181	95	
前年比	87%	93%	107%	

(2) モトクロス

① 全日本選手権

(最終戦はスポーツ庁・観光庁後援事業)

場所	開催日	観客数	台数	国際B級	国際A級		LMX	CX	J85	他
				Open	IA-1	IA-2				
九州	4月3日	6,700	255	84	21	49	43	22	36	
関東	4月17日	7,200	316	94	23	46	51	19	55	28
中国	5月15日	3,620	277	84	20	46	46	33	48	
SUGO	6月5日	4,200	327	88	20	45	50	16	43	65
近畿(神戸)	7月3日	6,896	279	82	23	43	45	37	49	
東北	7月24日	3,900	200	71	24	47	46	12	35	
近畿(名阪)	9月11日	4,722	267	78	22	43	40	36	48	
関東	10月2日	8,000	291	77	22	46	46	28	45	27
MFJGP	10月25日	6,700	290	90	24	44	51	25	56	
合計		51,938	2,502	748	199	409	418	228	415	120
平均		5,771	278	83	22	45	46	25	46	
前年		6,063	259	73	21	45	41	18	44	
対比		95%	107%	114%	105%	101%	113%	141%	105%	

② モトクロス全国大会 (スポーツ庁・観光庁後援事業)

開催日：平成28年8月28日(日) 総参加台数162台(昨年161台)

開催場所：広島県・世羅グリーンパーク弘楽園

	NA2	NAOPEN	NB2	NBOPEN	J85	J65	チャイルド 50	Ladies	計
H28年	—	23	—	32	49	29	29	—	162
H27年	—	33	—	30	49	34	15	—	161
H26年	33	33	31	30	56	28	17	—	228
H25年	32	32	34	34	48	33	21	14	248

② 地方競技会（ライセンス数は3月末最終）

地区	年度	2016 地方選手権モトクロス			
		ライセンス	大会数	総参加人数	平均人数
北海道	H28年	225	8	952	119
	H27年	219	8	874	109
	前年比	103%	100%	109%	109%
東北	H28年	184	7	673	96
	H27年	203	7	728	104
	前年比	91%	100%	92%	92%
関東	H28年	474	8	1,152	144
	H27年	462	9	1,127	125
	前年比	103%	89%	102%	115%
中部	H28年	270	9	690	77
	H27年	265	9	746	83
	前年比	102%	100%	92%	93%
近畿	H28年	205	9	732	81
	H27年	205	8	578	72
	前年比	100%	113%	127%	112%
中国	H28年	148	8	526	66
	H27年	148	8	538	67
	前年比	100%	100%	98%	99%
四国	H28年	70	6	228	38
	H27年	73	5	224	45
	前年比	96%	120%	102%	84%
九州	H28年	139	6	396	66
	H27年	148	6	348	58
	前年比	94%	100%	114%	114%
全体	H28年	1,715	61	5,349	88
	H27年	1,723	60	5,163	86
	前年比	100%	102%	104%	102%

(3) トライアル

① 世界選手権

(スポーツ庁・観光庁後援事業)

格式	開催日	大会名	観客数					
			H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	前年比
世界選手権	4月23/24日	トライアル世界選手権 日本GP	11,500	15,000	16,000	18,000	14,500	81%

※H27年はツーリングイベント併催でその数も観客数(約3,000名)に入っている為、TR観戦者は同程度。

② 全日本選手権 ※今期よりレディースクラス開催

	開催日	場所	観客数	台数	レディース	IB	IA	IA-S	併催
第1戦	3月13日	関東	2,550	148	6	81	45	16	
第2戦	4月17日	近畿	1,300	165	6	96	48	15	
第3戦	6月12日	中国	322	120	5	62	36	15	2
第4戦	7月3日	九州	1,100	112	5	48	42	15	2
第5戦	7月17日	北海道	800	81	4	33	27	16	1
第6戦	10月9日	中部	2,750	154	5	83	50	16	
第7戦	10月30日	東北	1,050	124	6	65	37	16	
合計			9,872	904	37	468	285	109	5
平均			1,410	129	5	67	41	16	2
前年平均			1,445	123		64	42	13	3
前年対比			98%	105%		104%	97%	120%	56%

③ 地方選手権 (ライセンス数は3月末最終)

地区	年度	平成28年			
		ライセンス	大会数	総参加	平均台数
北海道	H28年	41	7	186	27
	H27年	47	7	202	29
	前年比	87%	100%	92%	93%
東北	H28年	145	8	643	80
	H27年	135	8	538	67
	前年比	107%	100%	77%	77%
関東	H28年	392	8	705	88
	H27年	407	9	710	79
	前年比	96%	129%	111%	87%
中部	H28年	253	9	736	82
	H27年	243	9	769	85
	前年比	104%	100%	96%	96%
近畿	H28年	246	7	633	90
	H27年	239	8	607	76
	前年比	103%	88%	104%	118%
中国	H28年	157	10	605	61
	H27年	152	10	582	58
	前年比	103%	100%	104%	105%
四国	H28年	64	8	294	37
	H27年	68	8	262	33
	前年比	94%	100%	112%	112%
九州	H28年	181	8	581	73
	H27年	159	8	546	68
	前年比	114%	100%	106%	107%
全体	H28年	1,479	65	4,383	67
	H27年	1,450	67	4,216	63
	前年比	102%	97%	104%	107%

① 第29回トライアルGC

開催日：平成28年11月13日 場所：和歌山県・湯浅トライアルパーク

	GCクラス	オーバー50	人数計	地区対抗チーム	
				チーム数	人数
H28年	57	7	64	6	18
H27年	48	4	52	3	15

(4) スノーモビル

年度	開催地	開催日	観客数	台数	B	SC	A	併催
第1戦	新潟	1月24日	中止					
第2戦	長野	1月31日	中止					
第3戦	真狩	2月7日	300	128	47	21	48	12
第4戦	士別	2月14日	400	127	50	20	41	16
第5戦	旭川	2月28日	600	129	53	20	43	13
年間合計			1,300	384	150	61	132	41
1大会平均			433	128	50	20	44	14
前年平均			570	113	50	23	33	7
前年対比			76%	113%	100%	88%	133%	195%

(5) スーパーモト

① 全日本選手権

	開催日	場所	観客数	台数	S1 PRO	S1 OPEN	S2	併催エリア	承認
第1戦	4月24日	美浜	600	65	14	21	20	10	
第2戦	6月19日	エビス	250	67	12	14	11	30	
第3戦	7月17日	琵琶湖	300	65	13	26	16	10	
第4戦	8月7日	タカタ	300	58	8	18	18	13	1
第5戦	8月28日	SUGO	900	75	13	19	11	32	
第6戦	9月18日	桶川	800	73	17	16	10	30	
第7戦	10月15日	名阪	500	70	18	24	9	19	
第8戦	10月30日	HSR	200	43	6	13	13	11	
第9戦	11月8日	茂原	500	75	13	21	12	29	
合計			4,350	591	114	172	120	184	1
1大会平均			483	66	13	19	13	20	1
前年平均			438	72	15	22	14	22	11
前年対比			110%	91%	84%	87%	95%	93%	9%

② エリア選手権を下記地区で開催。

エリア	大会数	総台数	平均	前年比
東日本	5	153	31	106%
中日本	3	55	14	65%
西日本	3	51	17	85%
H28 合計	11	228	21	
H27	12	280	23	
前年対比	92%	81%	91%	

(6) インデューロ

	開催日	場所	合計台数	全日本				承認
				インターナショナル		ナショナル		
				A	B	N	W	
第1戦	5月9日	テジャス<広島>	154	20	26	56	6	46
第2戦	6月19日	プラザ坂下<近畿>	125	17	23	48	6	31
第3戦	9月17日-18日	日高<北海道>	168	22	22	59	8	57
第4戦	11月19日-20日	SUGO<宮城>	180	27	23	66	6	58
		合計	627	86	94	229	26	192
		1大会平均	157	22	24	57	7	48
		前年平均	129	16	22	45	4	43
		前年対比	122%	134%	107%	127%	163%	112%

3) 代表選手派遣事業

(1) モトクロス・オブ・ナーションズ（国別対抗世界選手権）

モトクロス委員会にて選手の選抜並びに代表チームの認定を行った。

- ・開催日：平成28年9月24日～25日 開催国：マジョーラ（イタリア）
- ・代表チーム（MXGP：成田 亮選手、MX2：能塚智寛、MXOpen：山本鯨選手）
- ・順位：38か国中20位（予選11位）

(2) トライアル・デ・ナシオン（国別対抗世界選手権）

・トライアル委員会にて選手の選抜を行い男子チームが参戦。

開催日：平成28年9月10日～11日 開催国：Isola2000(フランス)

日本代表チーム（藤波貴久選手、小川友幸選手、黒山健一選手）

順位：24か国中2位

(3) アジア・カップ・オブ・ロードレーシング（アジア国別対抗戦）

	車両	開催日	開催国	参加国	台数	順位
第1戦	ヤマハシグナス125	11月5/6日	台湾	4	12	1位
第2戦	ヤマハエキサイター150	12月17/18日	タイ	6	13	2位

●最終ランキング：1位日本、2位フィリピン、3位インド、4位タイ、5位台湾、6位オーストラリア、7位ネパール

4) 2016Moto Awards(全日本選手権ランキング表彰式典)※JKA補助金事業

全日本ランキング表彰式典を平成28年12月17日(土)に東京・大手町の日経ホールにて開催。

Ⅲ. 補助金事業

1. (公財) JKAオートレース

1) 国内競技規則書(12月発行平成28年版) 交付申請額：7,894,000円

交付確定額：2,297,000円

2) 2016MFJ Moto Awards(ランキング表彰式) 交付申請額：3,153,000円

交付確定額：3,129,000円

2. 独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」

平成28年度ドーピングコントロール 交付申請額 4,067,000円

交付確定額：1,878,000円

Ⅳ. モーターサイクルスポーツの普及振興

1) 普及強化事業

① MFJロードレースアカデミー in Motegi (11期目)

主催：(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：栃木県・ツインリンクもてぎ 期間：平成28年4月～9月

内容：・会期は年間6回(10日間)

・年間参加(18歳以下) = 7名(昨年6名)

・スポット参加(年齢問わず)：50名(昨年104名)。

年間講師：校長：坂田和人 インストラクター：小林龍太

1Dayスクールインストラクター：関口太郎、小山知良、大久保光、武田雄一、岩田悟
宗和孝宏

協賛企業：日本特殊陶業、ブリヂストン、アライヘルメット、本田技研工業

② MFJトライアルアカデミー(10期目)

・主催：(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

・会場：茨城県・真壁トライアルランド(9回)、栃木県・ツインリンクもてぎ(1回)

・対象：アカデミー1クラス・・・初心者(若手)、シニア、女性を対象とした育成プログラム。

アカデミー2クラス・・・NB上級～IB初級レベルを対象としたレベルアッププログラム

・受講者：年間13名(昨年12名)

※本年度もスポット参加受付・・・のべ16名が参加

・期間：平成28年9月26日～2016年1月31日まで(計10回)

・車両：各自持ち込み(レンタル制度なし)

・協賛企業：日本特殊陶業、河和田屋印刷、アライヘルメット(年間参加者へ、TR用ヘルメットを支給)
住友ゴム工業

③ MFJ レディースロードレース（10年目）

ツインリンクもてぎにてレース3回、講習会はアカデミーと併催。

	第1回 3月19/20日	第2回 5月28/29日	第3回 7月10日	第4回 11月20日	合計	平均
H28年	12	19	21	15	67	17
H27年	18	17	20		55	18
H26年	20	22	24		66	22
H25年	19	19	17		55	18
前年比	66%	112%	105%		122%	94%

主催：レース・・・ツインリンクもてぎ

講習会・・・（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：栃木県・ツインリンクもてぎ

参加資格：レース・・・ロードレースライセンス所持者

講習会(アカデミー併催)・・・ライセンスは所持問わず いずれも女性限定

協賛企業：アライヘルメット、アールエスタイチ、日本特殊陶業、クシタニ、三幸産業、

ホンダ開発、KEHOEJAPON、株式会社和光ケミカル、SatoshiKuwashima#98、

チーム・マリ、アイ・ファクトリー、モビリティランド

④ MFJ 親子バイク祭り(6年目)

今期は体験試乗とレースを分けて以下のように実施。

- ・ 平成 28 年 3 月東京モーターサイクルショーでキッズバイク体験試乗を実施、延べ 249 名乗車
- ・ キッズバイク体験からポケバイ/ミニバイク誘引のガイドブック作成、大阪/東京MCショーで配布
- ・ 平成 28 年 4 月 10 日全日本筑波にて体験試乗会実施 41 名乗車
- ・ 9 月モトチャンプ全国大会に親子バイククラスを併催で開催 74Daijuro 14 名、ポケバイ 5 名

⑤ MFJ 東北復興応援ツーリング 2016

東北復興の応援を目的とする標記ツーリングイベントを試験的に開催した。

- 目的：東北の被災した東北沿岸部を訪れ、人と触れ合い消費行動をすることで復興の一助となることを目的とする。

・ ツーリング期間：平成 28 年 8 月 1 日～10 月 31 日

・ 対象地域：青森・岩手・宮城・福島

・ 期間内の主なイベント

8 月 11 日(祝) キックオフミーティング 埼玉スタジアム（地元行政の協力で実施） 参加:120 名

8 月 28 日(日) ダンロップツーリングステーション（賛同イベント）福島県・磐梯吾妻スカイライン浄土平レストハウス駐車場 参加：319 名

9 月 24(土)25 日(日) ツーリングキャンプ&ボランティア 宮城県・神割崎キャンプ場 参加：10 名

参加者合計:449 名（登録者 119 名）

主催：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会

公認：国際モーターサイクルズ連盟（FIM） FIM Ride Green 連携事業

後援：観光庁、復興庁、宮城県、岩手県、福島県、青森県、美園タウンマネジメント協会、一般社団

法人日本自動車工業会、一般社団法人日本二輪車普及安全協会、一般社団法人全国二輪車用品連合会、全国オートバイ協同組合連合会、河北新報社、NHK 仙台放送局、仙台放送、TBC 東北放送、ミヤギテレビ、エフエム仙台、株式会社モビリティランド

⑥ プロモーション・マーケティング事業の外部委託

MFJビジョン推進の為、以下の項目について7月より(有)クライムと業務委託契約を結び活動を開始した。

－ 1 プロモーション事業

- ・ プロモーション事業（TV放映、動画配信、全日本RD専用HP等）について2017年より業務委託することから、8月～9月にかけてプロモーション事業に出資いただいているメーカー/サーキットを訪問しヒアリングを行った。
- ・ 9月～10月に既存委託業者（TV/HP等）にヒアリングを行い来期活動について協議
- ・ クライムは受託事業を推進するため下部に共同事業体を組織
名称：MFJマーケティング
構成：モーターマガジン社、クレタ、オフィスとらくしゅん、三栄書房、バイクプロス、造形社、エアタイム、自然山通信、共同印刷

－ 2 MFJ会員へのメリット供与

- ・ 7月より協力企業とのアライアンスによる会員メリット提供について営業
バイクプロス（バイク用品ネット通販）、キズキレンタルサービス・ルートイン決定。5社目標

－ 3 レース以外の会員獲得する活動

- ・ ジムカーナ団体（JAGE）との連携の為会合、競技会視察等実施
- ・ 同種目会場として埼玉スタジアム調整池の使用について要望。

2) 安全・環境・健康に関する活動

● レスキュー講習会

モータースポーツライセービング機構（LSO）の加盟を継続。

● ドーピングコントロール

ドーピングコントロールを下記のように実施し、違反者は無かった。

種目	格式	実施日	場所	区分	検査数
ロードレース	全日本	5月29日	TRM	MFJ事業	4
モトクロス	全日本	7月3日	神戸	MFJ事業	4
トライアル	全日本	10月30日	SUGO	MFJ事業	4

● サーキットアドバイザーへの補助

各サーキットのスクール・イベント時安全面の指導を行うサーキットアドバイザー制度促進の為、補助を行った。

● インストラクターセミナー開催

本年より企画を変更し地域ごとにインストラクターを集め、より実践的な講義内容とすることとした。

①開催日時：平成28年10月7日（金） 13:30～16:30

開催場所：筑波サーキット・体育館 講師：小澤セーフティ委員長 受講者：16名

②開催日時：平成29年1月28日（土） 13:30～16:30

開催場所：MFJ会議室 講師：小澤セーフティ委員長 受講者：16名

③開催日時：平成29年2月4日（土） 13:30～16:30

開催場所：MFJ会議室 講師：小澤セーフティ委員長 受講者：13名

④開催日時:平成 29 年 3 月 25 日(土) 13:30~16:30

開催場所:鈴鹿サーキット 講師:小澤セーフティ委員長 受講者:8名

⑤開催日時:平成 29 年 3 月 28 日(火) 13:30~16:30

開催場所:MFJ 会議室 講師:小澤セーフティ委員長 受講者:3名

●セーフティオフィサー派遣

全日本ロードレース選手権の運営均一化、安全向上を目的に全戦をラウンドするセーフティオフィサー2名を派遣

- ・ 競技監督とレースディレクションを構成し、コースの状況、運営について協議し執行
- ・ ライダーの危険行為やマナー違反等にペナルティポイントを与える。

●メディカル部会活動

- ・ 脳震盪判断基準と発生時のプロトコルを作成し、各大会主催者に配布
- ・ 全日本ロードレースのライダーブリーフィングにて脳震盪への認識を高める為説明を継続実施
- ・ 全日本ロードレースにて負傷者申し送り制度・メディカルパスポート制度を実施
- ・ 平成 29 年 1 月 21 日メディカル部会開催

●モトクロス安全対策

全日本モトクロス関東大会(4月17日)で発生した重大事故から以下のような安全対策を強化した。

- ・ セーフティ委員会・モトクロス委員会・主催者にて事故の検証、事後の対策について検討し以下を決定
- ・ イエローフラッグの認識を高めるため、規則変更(静止・振動区間は追い越し禁止・ジャンプ禁止)
- ・ レッドフラッグ提示の定義
- ・ 10月の関東大会に向けコース確認と改修を指示

●観客安全対策

- ・ モトクロス競技安全対策の指針に基づき観客安全対策を各主催者に啓蒙
- ・ 全日本モトクロス選手権用に観客エリア区分用ネット各 250m分無償提供(昨年の 1000mに追加)
- ・ エンデューロ主催者にコーステープの安価供給継続
- ・ スノーモビル観客安全対策マニュアルを作成主催者に広く徹底
- ・ 全日本モトクロス第 4 戦 S U G O 大会にて発生した転倒後観客エリアへの飛び出し事例に対して、セーフティ委員会にてコース確認を行いコース改修指示。

●安全装備の研究

- ・ 競技用装備部会にてヘルメットとレーシングスーツの公認基準を改定。使用期限を設けた。
- ・ モトクロス・トライアル等の安全装備に関する国内競技規則の内容を変更

3) 広報活動

①オフィシャルホームページ

- 全日本ロードレースおよび全日本モトクロスオフィシャルファンサイトとの情報連携。
- 全日本トライアルのライダー紹介,全日本スーパーモト、全日本エンデューロプロモーションサイトとの相互リンクによる情報提供。
- ネットワークショップ検索システムによる地域サポート窓口店舗情報提供。
- 競技会カレンダー検索を毎週更新、主要競技の結果速報・レポート・写真を掲載。
- 平成 28 年 4 月 1 日より平成 28 年 11 月 27 日までに、1,901,247PV/月平均 237,655PV(昨年 271,834PV)のアクセスを得た。
- Facebook により迅速な情報発信

② 競技規則書を 26000 冊作成し競技会員並びに関係者に配布した。

③ メールでの情報発信をライセンス会員向けに月 1 回配信。

- ④ H28年3月の大阪/東京モーターサイクルショーでMFJブースを設けPR活動を実施
- ⑤ フリーペーパー「ライディングリミテッド」を年間1回発行。17,000部作成し、7月に開催される各種目の日本選手権シリーズをはじめとする主要競技会会場にて観客向けに配布し、後半戦の集客増員を図った。
- ⑥ ポスターカレンダー（加盟団体ごとの地域イベントを中心とした内容）作成、ネットワークショップを中心広く配布
- ⑦ 全日本ロードレース選手権を中心にシリーズ告知等広報宣伝活動を展開した。
 - ・ 無料BS放送（BS12）で毎週土曜午後7時の帯番組(Ride&Drive)で全日本ロードレース並びにモトクロスを全戦放映。今年から全日本トライアルとM F J カップ JP250 をダイジェスト放映。
 - ・ 全日本ロードレース選手権全戦のライブ動画配信をMFJライブチャンネルにて実施。
 - ・ ファン会員を募集し、257名が登録（昨年231名）
 - ・ H28年3月東京モーターサイクルショーにて次年度全日本選手権PRの為、モーターサイクルスポーツPRコーナーを設け大画面でのレース映像とレーシングマシン展示、中央ステージでのライダートークショーを開催、
- ⑧ 専用ホームページ Superbike.jp にて事前告知を中心に展開するとともに一般向け並びにプレス向けのメルマガの配信を行った。※3月～11月の訪問者数1,791,849件（昨年1,839,973件3月～11月）オトホリ以外の2大会中止が減少の要因と思われる。
- ⑨ 広報部会
毎月定期的に会合を行い以下実施。

V. 地方組織

1. 加盟団体運営

- ・ 今期より業務委託費配分方法を変更
- ・ 各加盟団体理事会（6月～7月）に日本二普協担当と供に出席し進捗確認
- ・ 12月7日に加盟団体会議を開催し平成29年度に向けた方針を説明

2. ネットワークショップ

ネットワークショップ加盟は82店舗（昨年83店）と減少

3. 加盟団体ごとの活動状況は以下の通り（3月末締め、競技会員・エンジョイ会員数合算・重複取得は除く）

地区	会員数	大会数		全日本選手権						Nショップ ^o	
		公認	承認	RD	MX	TR	SN	SM	ED		
北海道	901	47	1	0	0	1	3		1	2	
東北	1,497	57	24	1	3	1	0	2	1	8	
関東	6,818	110	20	3	2	1	2	2		24	
中部	2,614	65	20	2	0	1	0	1		9	
近畿	3,007	33	11	0	2	1	0	2	1	19	
中国	1,228	65	8	1	1	1	0	1	1	11	
四国	452	18	1	0	0	0	0			3	
九州	1,463	72	5	2	1	1	0	1		6	
全体	合計	17,980	467	90	9	9	7	5	9	4	82
	前年同月	17,834	451	93	9	10	7	5	8	4	83
	前年比	101%	104%	97%	100%	90%	100%	100%	113%	100%	99%

VI. 国際交流

世界における MFJ の役割として、海外選手の受け入れ、選手並びに日本代表チーム、事務局員を海外に派遣し、国際交流を促進し、MFJ 並びにアジア地域における人材育成を通じて、モーターサイクルスポーツの活性化を推進した。

- 4月 アジアロードレース第1戦マレーシア大会に事務局員を派遣
FIM テクニカルスチュワードセミナーをもてぎで開催 参加者 11 名
FIM トライアル世界選手権もてぎ大会
- 5月 FIM トライアルトレーニングキャンプを愛知県で開催 参加者 7 名
アジアロードレース選手権第2戦タイ大会に事務局員を派遣
- 6月 アジアロードレース選手権第3戦鈴鹿大会
FIM 各国事務局長級会議に事務局員を派遣 参加国 15 か国
FIM チーフメディカルオフィサーセミナーを MFJ 会議室にて開催 参加者 8 名
- 7月 鈴鹿 8 時間耐久
- 8月 アジアロードレース選手権第4戦インドネシア大会に事務局員を派遣
- 9月 モトクロス・オブ・ネーションズに日本チーム並びに団長を派遣 順位 18 位
トライアル・デ・ナシオンに日本チーム並びに団長を派遣 順位 2 位
- 10月 アジアロードレース選手権第5戦インド大会に事務局員を派遣
FIM アジア事務局長とのミーティングのため事務局員をマレーシアに派遣
世界選手権グランプリ ツインリンクもてぎ大会
アジアロードレース選手権プロモーターとのミーティングを MFJ にて開催
- 11月 アジア国別対抗ロードレース第1戦台湾大会に日本チームを派遣
FIM 総会並びに表彰式に会長及び事務局員を派遣
- 12月 アジアロードレース選手権第6戦タイ大会に事務局員を派遣
アジア国別対抗ロードレース第2戦タイ大会に日本代表チームを派遣
- 1月 FIM 公認車両インスペクション立ち会い
- 2月 FIM 春季ジュネーブ会議に事務局員を派遣
FIM アジア総会に会長及び事務局員を派遣
- 3月 FIM コース査察（鈴鹿）立ち会い

Ⅶ. スポーツ安全保険等

1. スポーツ安全協会の『スポーツ安全保険』登録業務並びに競技会での受傷者への手続きを行った。

種目	区分	事故通知			保険請求		
		A1	C	計	A1	C	計
ロードレース	国際		19	19		18	18
	国内		57	57		52	52
	フレッシュマン		11	11		13	13
	ジュニア	1		1	1		1
	計	1	87	88	1	83	84
モトクロス	国際A級		11	11		12	12
	国際B級		24	24		22	22
	国内A級	1	10	11	1	11	12
	国内B級	1	25	26	2	21	23
	ジュニア	19		19	17		17
	P C			0			0
	計	21	70	91	20	66	86
トライアル	国際A級		3	3		2	2
	国際B級		6	6		6	6
	国内A級		2	2		2	2
	国内B級		7	7		8	8
	ジュニア			0			0
計	0	18	18	0	18	18	
スノーモビル	S A		1	1			0
	S B			0			0
	ジュニア			0			0
	計	0	1	1	0	0	0
エンデューロ	国際			0			0
	国内		7	7		6	6
	計	0	7	7	0	6	6
スーパーモト	A		7	7		5	5
	B		2	2		2	2
	計	0	9	9	0	7	7
ピットクルー		0	1	1			0
エンジョイ		0	22	22		19	19
競技役員		0	0	0			0
2016年度 合計		22	215	237	21	199	220
2015年度		14	195	209	15	169	184
前年比 (四捨五入)		157%	110%	113%	140%	118%	120%

※スポーツ安全保険の加入区分 (A・・・中学生以下、C・・・中学卒業以上～65歳未満、B・・・65歳以上)

Ⅷ. 諸会議の開催

諸会議						
4月	14日	エンデューロ委員会	11月	8日	モトクロス委員会	
	19日	技術委員会		9日	エンデューロ委員会	
	26日	広報部会		10日	スノーモビル作業部会	
	28日	セーフティ委員会（事故検証）		15日	ロードレース委員会	
5月	24日	技術委員会		17日	トライアル委員会	
	26日	広報部会		21日	技術委員会	
6月	1日	競技用装備部会		22日	スーパーモト委員会	
	2日	運営財務委員会		24日	セーフティ委員会	
	9日	理事会		29日	競技用装備部会	
	13日	競技用装備作業部会		12月	7日	加盟団体会議
	28日	評議員会			8日	運営財務委員会
	29日	広報部会			9日	中央スポーツ委員会
30日	技術委員会	16日	理事会			
7月	5日	スーパーモト委員会	19日	モトクロス作業部会		
	6日	競技用装備部会（プロテクター）	1月	13日	タイヤ入札委員会	
	11日	ロードレース委員会		19日	エンデューロ作業部会	
	14日	規律裁定委員会		21日	メディカル部会	
	21日	モトクロス委員会		23日	競技用装備作業部会	
3日	広報部会	26日		広報部会		
8月	4日	中央スポーツ委員会	30日	競技用装備部会		
	9日	技術委員会	30日	トライアル作業部会		
	9日	中央審査委員会(聴聞)	31日	技術委員会		
	25日	スノーモビル委員会	2月	9日	トライアル委員会	
	9月	6日		ロードレース作業部会（J P 250）	17日	ロードレース委員会（プロモーション）
6日		特別審査委員会		24日	加盟団体実務者会議	
7日		競技用装備部会	28日	モトクロス作業部会		
8日		広報部会	3月	6日	運営財務委員会	
13日		技術委員会		7日	技術委員会	
29日		中央審査委員会		9日	理事会	
10月	12日	ロードレース委員会(競技運営)	28日	評議員会		
	18日	トライアル作業部会				
	20日	広報部会				
	24日	モトクロス作業部会				
	26日	競技用装備部会				
	27日	技術委員会				

Ⅸ. その他の事業

1. 競技会申請のWEB化

- ・主催者の利便性と事務効率化を目的に競技会申請をWEB上で行うシステムを稼働。
- ・競技会報告をWEB上で行うシステムを開発、平成28年3月より稼働（ロードレース以外）

2. ロードレースセミナーの開催

ロードレース競技を円滑に運営する為、全国の公認サーキットより競技監督・車検長等主要オフィシャルを集

めセミナーを開催

開催日時：平成 29 年 2 月 25 日(土) 10:30～16:00

開催場所：東京・印刷会館 出席者：84 名（受講者 72 名）

3. モトクロス運営統一セミナーの開催（初）

モトクロス競技を円滑に運営する為、全国の加盟団体、サーキットより、審査委員・競技監督・主催事務局・車検長等、主要オフィシャルを集め運営統一化と規則の統一解釈を図るセミナーを開催

開催日時：平成 29 年 3 月 4 日(土) 11:00～16:30

開催場所：スポーツランド SUGO（宮城県） 出席者：講師 10 名、受講者 32 名

以上

■平成 28 年度事業報告 附属明細書

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。